

2018年5月14日

サンコール株式会社  
取締役会

### 取締役会全体の実効性の分析・評価の結果の概要

サンコール株式会社（以下「当社」といいます。）の、コーポレートガバナンス・コード（以下「CGコード」といいます。）【補充原則4-11③】に基づく第101期事業年度に係る取締役会全体の実効性の分析・評価の結果の概要は、下記のとおりです。

記

#### 1 分析・評価結果の概要

当社は、主にCGコード第4章の趣旨を踏まえて評価指標を作成し、同指標に基づく評価シートを全取締役および全監査役に配布の上、各取締役・監査役の個別の意見を収集しました。

当社は、各取締役・各監査役の個別の意見を参考にしつつ、当社取締役会全体の実効性について分析したところ、その実効性に概ね問題は無いものと評価しております。

記

#### 【評価指標】

1. 経営理念・戦略の確立
2. 取締役会決議事項と経営陣への委任事項とのバランス。
3. 中期経営計画
4. 後継者計画
5. 経営幹部のリスクテイク
6. 経営陣の報酬（インセンティブ）
7. 業績評価と人事への反映
8. 利益相反
9. 経営幹部の選解任手続き
10. 独立社外取締役の活躍
11. 独立性基準
12. 取締役構成の最適化
13. 審議の活性化
14. 経営情報の提供
15. 取締役・監査役のトレーニング

## 2 今後の課題

当社取締役会全体の実効性についての評価結果の概要は前述のとおりですが、その中でも、「4. 後継者計画」、「7. 業績等の評価と人事への反映」、「8. 利益相反」および「13. 審議の活性化」については、必ずしも十分ではない部分や、さらに充実・発展させる余地があると分析・評価しておりますので、今後の課題として検討してまいります。

以上